

京都府知事賞

京都府知事賞を受賞して

心月無想柳流柔術 古武道甲武館 竹田 豊

大日本武徳会創立百二十周年記念、第五十三回全国武徳祭におきまして、「京都府知事賞」の栄誉を頂きまして、この上ない喜びを感じると共に、これもひとえに本会諸先生方のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。有難うございました。

第二十一回全日本武徳祭（当時の名称）において、初めて賞を頂き天にも昇る気持ちで賞状と盾を受け取り感激したことが昨日のことのようです。

十代で武道に目覚め半世紀、その後、縁があり心月無想柳流柔術の門を叩き今日に至っています。

「形の中に隠された技の本質を観よ、更に精進せよ、そして悩め。常に礼儀を重んじ心を磨け、道場の中だけが稽古と思うな。社会生活を営む中で発揮せよ。」と教えられました。

武術の目的の出発点は同じと考えますが、江戸期、明治期、そして現代に至っては目的意識も大きく変化しています。

古流は形稽古が中心といいますが、武術である限り自己防衛を堅持

することは当然であり、そのための危機回避は必須であります。

慢心や驕りの心からは、何の学びも成長もありません。むしろ自分の不完全さを反省し受け入れ認めることが大切かと思えます。

この先も「精進第一、忍んで一生」の気持ちです。

賞に恥じぬよう更に奮励し、微力ではありますが、本会の発展に寄与していきたいと存じます。

京都市長賞

京都市長賞を受賞して

虚心流居合剣法宗家 範士八段 山本 楠城

平成二十七年四月二十九日、第五十三回全国武徳祭において、栄誉ある「京都市長賞」を賜りました。浅学菲才のわが身としては、思いもかけぬことでありましたが、これもひとえに副総裁桑原兵充先生、代表理事濱田鉄心先生をはじめとする諸先生方のご厚情の賜と深く感謝し、御礼を申し上げます。

思えば、少年の頃より剣道、柔道等、現代武道を学び親しんで来ましたが、三十有余年前、古流の刀法を学ぶ必要を深く感じ、大日本武徳会公認虚心流居合剣法の門を叩いて以来、本会の存在と諸先生方の